

## 組織現勢（11月1日現在）

|          |         |
|----------|---------|
| 組合員数     | 20,021人 |
| 出資口数     | 95,500口 |
| 10月の新規加入 | 106人    |
| 10月の増資口数 | 361口    |

No. 388 再生紙を使用しています。

## 城南の保健

発行所  
城南保健生活協同組合  
本部事務局 大田区大森東4-6-15-101  
TEL (3762) 0266  
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店  
口座(普) 0469459  
発行 「城南の保健」編集委員会  
毎月1回発行・定価1部 30円

青空の下、楽しく賑やかに  
健康まつりに4500人が来場

好天にも恵まれ、中央舞台の出し物でおおいに盛り上がりました

## 第31回 健康まつりのお礼



山本実行委員長

テントなど備品をお貸しいただきました皆さまの協力に心より感謝申し上げます。

10月25日(日)に行われた「第31回大田・品川健康まつり」は、昨年引き続き、大田区の後援を得て池上小学校で開催しました。

当日は晴れて健康まつり日和となり、入場者数も4500人を超え、大成功をおさめることができました。実行委員会への参加ならびに、賛助券の普及等で準備の段階からご尽力いただいた皆さま、また当日の要員、

中央舞台では、昨年を上回る11団体・個人の方にご出演いただきました。久しぶりの出演となった芳音の開幕太鼓、チーム幻の南中ソーラン、毎年恒例のブルメニア&ナースガールのフラ、荏原ユニオンエイサー隊、南部合唱団の出演もあり、今年もたいへん盛り上がりしました。



チーム幻、久しぶりの出演です



馬込山王と中延支部合同で生協音頭



模擬店も大盛況でした

また今年は健康まつりらしく、こころばえ体操、生協音頭、さらには前進座の俳優さんたちによる「立ち回りエクササイズ」など観客の皆さんとともに体を動かす出し物もありました。出演していただいた皆さまありがとうございました。

健康チェックコーナーには、300人を超える方においていただきました。今年も都検査技師会のご協力で体内年齢測定、血管年齢測定、尿チェックに長蛇の列ができました。

「子どもの広場」もたくさん親子連れで賑わいました。よろず相談コーナー、成年後見相談も東京南部法律事務所、リーガルサポートの司法書士の皆さま

にも協力頂きました。今回の健康まつりでは、新しくつながりを持つことができた団体も含め、各団体の連携をさらに強めることができました。今後とも、さまざまな運動で連携していければと思います。

ご感想、ご意見やご要望などがありましたら、実行委員会事務局までお寄せください。第31回大田・品川健康まつりへのご参加、ご協力、本当にありがとうございました。

2015年10月27日

第31回大田・品川健康まつり実行委員会

実行委員長 山本 博

健康まつり福引き当選番号は2面に掲載しています。

## 秋の生協強化月間

## 10月は106人の組合員が増えました

10月1日より「秋の月間」に入り、新しい組合員を増やすことと同時に「健診を受けましょう」の取り組みも強めています

大田病院周辺では、毎週火曜日と土曜日に地域のお宅を訪問しています（他の地域でも訪問行動に力を入れています）。

10月は、新たに106人の組合員が増えました。4月からの累計で210人の組合員が増えています。目標は700人ですので、あと490人の方に参加していただくよう取り組んでいきます。

- 城南保健生協はこの間、3年連続で700人の目標を達成しています。今年は4年連続達成に向けて挑戦中です。
- 組合員の皆さんには、引き続き、組合員を増やす取り組みをお願いいたします。
- 城南保健生協に未加入の方がいましたら、ぜひ加入をすすめてください。
- 「毎月機関紙が届くよ」「病院や診療所の案内も載っているよ」「いろいろな行事もあるよ」など声かけをお願いします。



健康チェックは今年も大人気

## 腹八分

団塊の世代の人びとにとって、小学生の頃に家にテレビがやってきた日の感動を今も鮮明に記憶している人は多い。一

番の人気はプロレス中継であった。家にテレビのない少年たちは駅頭のテレビに群がり、あるいは知りあいの家に押しかけ、そして、そは屋のテレビを覗いた。アメリカの巨人レスラーを空手チョップでなぎ倒す力道山に大人も子どもも酔いしれた。日本であつた一度の真剣勝負と言われる柔道家・木村雅彦との対決はいつまでも伝説みたいに語り継がれた▼やがて力道山の突然の死。その頃はもう以前のような爆発的な人気は影を潜め、ヒーローは長嶋茂雄・王貞治に変わろうとしていた。プロレス界は危機を迎える。そこにひとりの若者が現れる。プロ野球出身のジャイアント馬場こと馬場正平だつた。ある団塊の世代のひとりが馬場正平を間近で見た。一度は多摩川の練習グラウンドである。大男揃いの選手の中で、馬場はひときわ大きく、まさに巨人であつた。かなりの人気で観客から「ばばっ、ばばっ」と声がかかると柔和な顔でゆっくり笑っていた。もう一度は多摩川のグラウンドに近い多摩川園遊園地に当時あつたプールで。自分に合つた水泳パンツがなかったのか、白いさらしのふんどし姿で、やはり静かにゆっくり笑っていたぞうだ▼すぐに怒り出す力道山と違つて、ずいぶん辛抱強い人で、その後のプロレス界をよくまとめる。さわやかに時代を通り抜けた人だつた。